

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立川副中学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和3年5月27日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

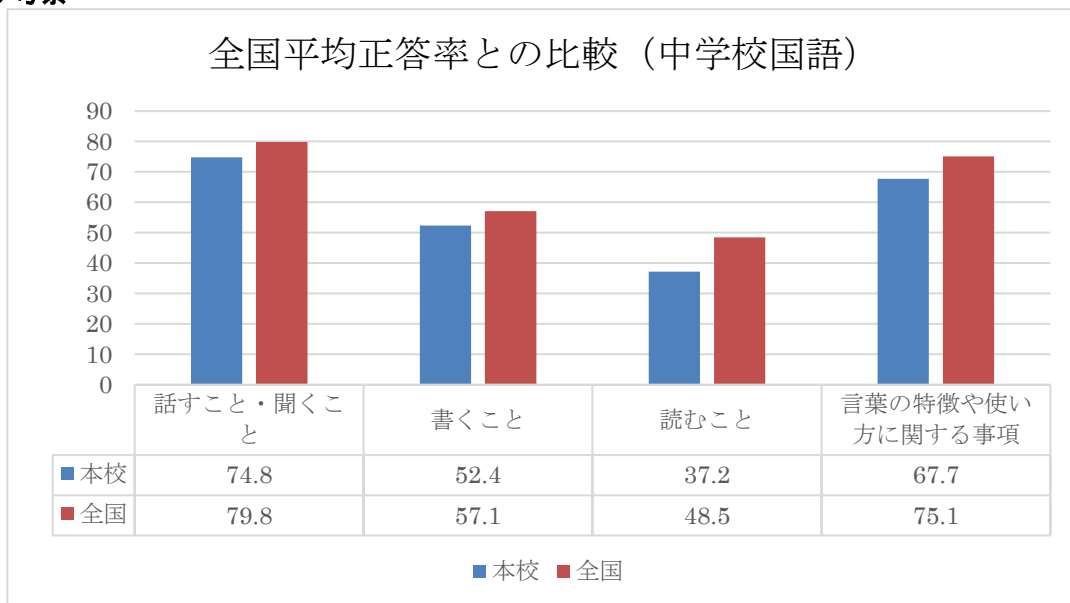
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全国平均をすべての領域で下回る結果となりました。特に「読むこと」の領域ができていないことが目立ちます。読解力の低さが目立つということです。また、文章の量が多い、縦書きと横書きが混じる、というだけで読みにくさが増し、問題に取り組まず、無解答という結果も見られました。さらに、読み取ったことをまとめて自分の考えを書くという問題も、無解答率が高いという結果になりました。

(2) 成果と課題

話し合い活動やプレゼンテーションのしかたに力を入れていたので、「話すこと・聞くこと」「場に応じた言葉の使い方」については、よくできていました。また、漢字の読み書きについても全国平均とほぼ同程度の出来でした。日頃の漢字についての学習の成果だと思われます。

課題は、やはり、文章を丁寧に読み、読み取ったことを自分でまとめ、さらにそれに対する自分の考えを述べるできていないということです。長文読解を苦手とする生徒が多く、授業で補おうとはしていますが、時間が足りないため家庭学習としています。しかし、家庭学習の時間が短いうえに意欲的に取り組もうとする傾向も見られません。教科書教材以外の文章にも積極的に取り組ませる機会を増やしたいと思います。

(3) 学力向上のための取り組み

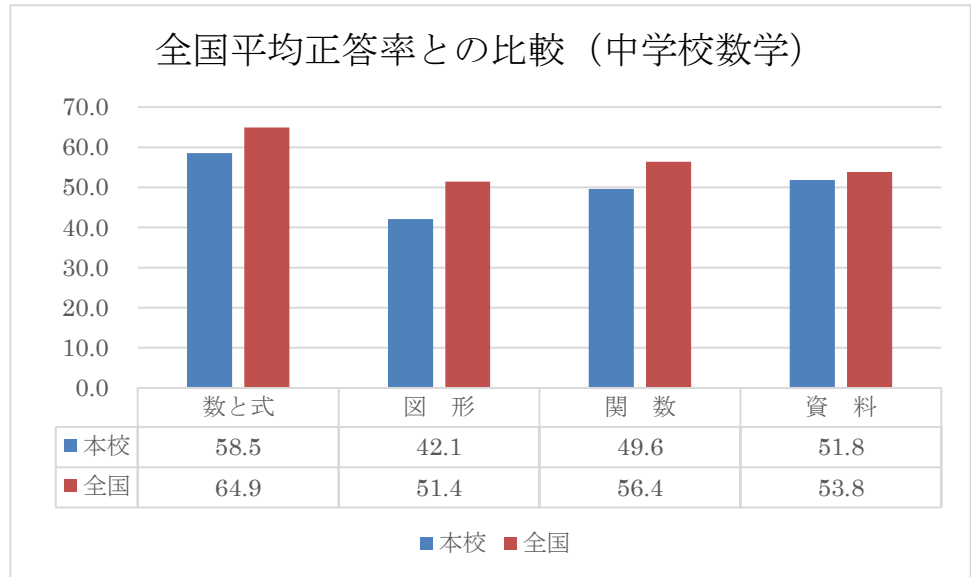
【学校では】

- 授業のめあてを明確にし、単元の学習を通してどんな力が身につくのかを知らせています。そして、学習の振り返りを通して、できるようになったことと努力を要することを生徒自身が意識するようにしており、これを継続していきます。
- 教科書教材以外の文章にも触れる機会を今まで以上に増やし、要旨をまとめたり感想を書かせたりします。また、それらを共有して、対話的な活動の中から「読むこと」に対する意欲や関心を引き出します。

【ご家庭では】

- 新聞やテレビなどから得たニュースや情報を家族で共有し話題にしてください。わからない言葉や内容について、積極的に調べるようにし、新しい知識を得て、学習につなげていけるようにしましょう。
- 家庭学習が、宿題をするだけで終わっていないか、発展的な学習としてどんなことに取り組んでいるのか、関心をもって子どもたちの学習を見守ってください。
- 家族で読書に取り組み、感想を語り合ってください。

2 数学



(1) 結果

全国平均を下回る結果でした。「資料の活用」の領域で全国平均に近い結果になりました。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「数と式」の領域の整式の加減の計算問題の正答率が全国平均正答率を8.3ポイント上回っていました。また、「資料の活用」の領域の中央値求める問題の正答率も全国平均正答率を上回っていました。1のような文字の計算はできるものの、2のような式に表すことができていないなど、技能は身につけていても数量の関係を捉え、数学的に表現することができていないことが分かりました。6(2)のように事柄が成り立つ理由を説明する問題が全国平均正答率を17.9ポイント下回るなど、問題形式の「記述式」の問題でも課題が見られました。

日々の授業で説明する活動や書く活動を継続して取り入れることが必要であると考えています。

また、全体的に無答率が高い傾向があるため、数学を学ぶ必要性を感じる授業をさらに取り入れていく必要があると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 日々の授業の繋がりを感じさせる発問などから、既習事項を生かした授業展開や数学の良さを感じることでできる題材を取り入れ、学ぶ意欲の向上を図っていきます。
- ノートチェック、プリント、振り返り、単元末テスト、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- 生徒のプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 日頃の生活の中で見られる数学の事象も数多くありますので、「なぜそうなるの?」と思う事象に関して、一緒に調べていくと生徒の知的好奇心の高まりにつながっていくものと思います。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	81.7	81.8
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	36.6	36.3
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	67.1	57.6
自分にはよいところがあると思いますか。	18.3	34.5
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	18.3	20.0
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	74.4	74.3
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	84.1	81.4

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムはしっかりできています。自分のよさについては、全国平均を下回っています。自分に自信がもてていない生徒が多いようです。また、社会の役に立ちたいと思っている生徒は、全国平均を上回っています。高い「志」を持った生徒がたくさんいることが分かります。いじめの項目に関しても、全国平均を上回る高い意識をもっています。このことから、本校が落ち着いた状況にあり、一人一人が生活しやすい環境にあることがわかります。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	9.8	19.4
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	7.3	12.3
「2時間以上、3時間より少ない」	22.0	29.5
「1時間以上、2時間より少ない」	46.3	34.1
「30分以上、1時間より少ない」	17.1	14.1
「30分より少ない」	3.7	6.4
「全くしない」	2.4	3.5
新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	34.1	34.6

家庭学習については、計画を立てて勉強をしている生徒は、全国平均より低い状況です。1時間未満の家庭学習時間の生徒が約4割弱近くおり、中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、新型コロナウイルス感染症拡大による生徒の心の問題、受験などに関する学習の問題なども、大切な課題であるととらえています。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習（自学）についても毎日取り組んでいます。お手本になる自学ノートを掲示して、質の向上を目指しています。これからも、継続しながら量と質の向上に努めていきます。
- 道徳や特別活動において、体験活動や成功体験を取り入れながら、自己肯定感をはぐくんでいきます。いじめのない学校づくりのために、毎月の生活アンケート等を通して、生徒が相談しやすい環境を継続して作っていきます。

【ご家庭では】

- 学校便り、学年便りなどをご覧になり、学校の話題について会話を増やして行ってください。
- 中学校では、「学年＋1」時間の家庭学習の時間確保をお願いしています。毎日、決まった時間に家庭学習を行う習慣付けをお願いします。
- SNS に関するトラブルも多くなっています。SNS の使い方については、ご家庭でしっかりとお子さんと話し合っ、各家庭のルールを決めていただくようにお願いします。